

主催者あいさつ 男女共同参画推進委員会委員長 丸田 聡

本日は、平日の昼間という大変出にくい時間にもかかわらず、このように多くの方にご参加いただきまして、ありがとうございます。主催者を代表して御礼を申し上げます。

近年、マスメディアなどで「LGBT」という言葉を耳にすることが多くなりました。しかし、この「LGBT」、言葉の意味まで正確に認識されているのでしょうか？「LGBT」について正確に認識するためには「SOGI（ソジ）」（性的指向・性自認）について把握することが欠かせないと言われます。私は組合の役員をしているので、「LGBT」「SOGI（ソジ）」という言葉はきいたことがありますし、研修会にも参加したことがあるので、少しは理解しているつもりですが、職場でヒアリングしたところ、言葉すら聞いたことがないという人も多くいました。これが現状なんだと感じた次第です。

連合は、この問題を特定の人々にのみ配慮が必要な課題としてとらえるのではなく、すべての人の対等・平等、人権の尊重に根ざした課題としてとらえるべきであるという、国際的潮流に則った考え方のもと特定のマイノリティを表す言葉である「LGBT」を打ち出さず、多数派も含めたすべての人が持つ属性としての「SOGI」を前面に押し出しています。

「SOGI」に関する差別やハラスメントは以前から存在していましたが、近年「LGBT」や「SOGI」が注目されることにより、その厳しい実態が明らかになりつつあります。また、「SOGI」に関するハラスメント（ソジハラ）をなくす動きも広まりつつあります。

連合は、平等に人権が尊重され、安心して働ける職場環境を実現すべく、取り組みを始めています。また、「SOGI」の課題について解説したチラシや、職場における取り組みの促進に向けて、労働組合の立場から押さえておくべきポイントをまとめた「ガイドライン」も2017年に作成されました。連合のホームページからダウンロードできるので、みなさんの職場でもぜひ、ご活用いただければと思います。

本日、ご参加いただいているみなさんは、もしかすれば半ば強制的に参加させられた方もいるかも知れませんが、このような学習会は頻繁に何度も開催できるものではありません。

本日のセミナー、2本の講演を予定していますが、「SOGI」について正しく理解し、ハラスメント対策や職場の環境整備を進めるなど、労働組合としての取り組みに繋げるためのいい機会です。せっかく参加いただいたので、学んだことを少しでも今後役に立ていただくことをお願い申し上げまして、連合兵庫を代表しての挨拶とさせていただきます。